



【製品概要】

TS1は端子箱付としては最もシンプルな形状のシース熱電対です。ルーズフランジ (LFL) やコンプレッションフィッティング (CFG) と組み合わせる事により、保護管長の調節が可能な挿入型として温度計測に使用できます。

【標準仕様】

- 素線種類 : T、J、E、K
- 許容差 : クラス1、クラス2
- 導線数 : シングル、ダブル
- 測温接点 : 非接地 (標準)
- 絶縁抵抗 : (ϕ 2.0以下)
100Vにて20M Ω 以上
(ϕ 2.3以上)
500Vにて100M Ω 以上

【特別仕様】

- ◇変換器内蔵 (DC4~20mA出力)
※シングルエレメントのみ
- ◇シース部曲げ加工
- ◇シース材質NCF600 (インコネル)

【オプション】

- ◇ルーズフランジ (LFL) P91
- ◇コンプレッションフィッティング (CFG) P92
- ◇熱電対専用コネクタ (TKC) P94
- ◇補償導線 (TCW) P95

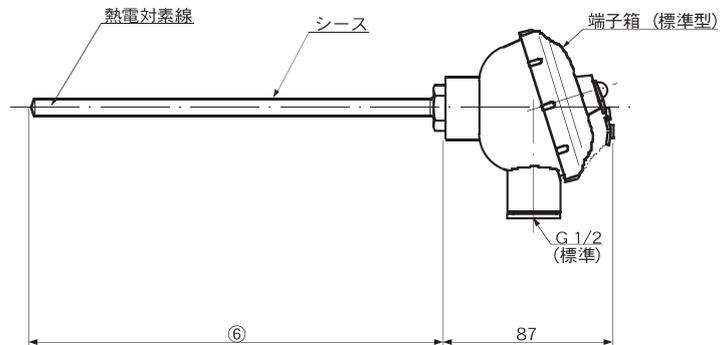
【型番構成】

TS1 - □ □ □ □ - □ - □ - □
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

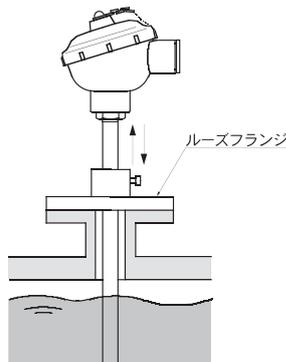
項目	コード	仕様
基本型式	TS1	端子箱付きシース熱電対 ストレートタイプ
① 許容差	1	JIS クラス 1
	2	JIS クラス 2
	3	ANSISPECIAL
	4	ANSISTANDARD
② 素線種類	T	タイプST (銅・コンスタンタン)
	J	タイプSJ (鉄・コンスタンタン)
	E	タイプSE (クロメル・コンスタンタン)
	K	タイプSK (クロメル・アルメル)
③ 素線数	S	シングルエレメント
	D	ダブルエレメント
④ 端子箱	N	標準型 アルミダイカスト (防滴)
	F	特殊型 フェノール樹脂 (防滴)
	T	両口型 (2方向) アルミ鋳造 (防滴)
	W	両口型 (同方向) アルミ鋳造 (防滴)
	K	小型 アルミダイカスト (防滴)
⑤ シース外径	A	ϕ 1.0mm (SUS316) ※シングルエレメントのみ
	B	ϕ 1.6mm (SUS316) ※シングルエレメントのみ
	C	ϕ 2.3mm (SUS316)
	E	ϕ 3.2mm (SUS316)
	F	ϕ 4.8mm (SUS316)
	G	ϕ 6.4mm (SUS316)
	H	ϕ 8mm (SUS316)
	⑥ 挿入長	□□□
⑦ 特記事項	S	

※使用温度は素線種類及びシース外径により異なります。使用温度は55ページをご参照下さい。

【外形図】



【使用例】



試験的に計測位置の深さを変える場合や、現地にて深さを調節する場合等はオプションのルーズフランジ等と組み合わせて使用します。但し、ルーズフランジ、ルーズねじは気密性がありません。又、コンプレッションフィッティングはある程度の気密性はありますが、一度締め付けると、位置の変更ができませんのでご注意ください。

→保護管タイプは57ページをご覧ください